

1. 研究活動

収蔵品展 043 自然の表現 わが山河 Part IV	2013. 1. 12 ～ 2013. 3. 24	東京オペラシティアート ギャラリー	収蔵品の中から日本の自然や風土、美意識を 描いた作品を取り上げながら、コレクション の源流をたどる。「わが山河」シリーズ4回目。
JunCture 超域的日本文化 研究 04 特集: インタラクトする風 景	2013. 3. 11 発行	名古屋大学大学院文学研 究科付属日本近現代文化 建久センター (発行)	眼差された風景 風景-池 風景-花々 (2点掲載)

2. 教育活動 (教育実践上の主な業績)

大学院授業担当 有 無

授業科目 デザイン実技Ⅳ (卒業制作)		作品制作の過程を重視しながら個々の 学生とそれぞれの作品について毎 週話あいながら指導をおこなう。授 業時間外での制作進度をコントロ ールしてすすめていく力を養成する。 企画コンセプトや中間チェックなど 全てプレゼンテーションを実施し自 分の作品についての発表の機会をつ くことで客観性をもって制作に取 組むことができる。
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
MCD コースでいままで学んできた技法 を、学生がそれぞれ選択し卒業作品を制 作する。本、写真、イラスト、版画、ウェ ブ、アニメーションと多方面にわたる卒 業制作に対応する。本年度は図鑑、絵本 の制作、写真、版画 (リトグラフ、銅版画) アニメーション、漫画、イラストを使っ た雑貨、伝統技法を使った切り絵、シル クスクリーンによるスカーフ、インタラ クティブ電子絵本、立体作品によるイン スタレーションと伝統的な技法から現 代メディアを駆使したもまで多様な 作品が制作された。	名芸での最終段階の制作のため、完成度 の高い作品を目指す意味でも参考資料 を集め自作に反映させる。	

授業科目 デザイン実技Ⅳ		産学協同研究では実際の企業のアイデンティティ資料に添って制作している。
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
コーポレートアイデンティティ。各自企業を選び企業研究を行い、マーク、ロゴタイプ、コーポレートカラーを制作する。	実際日常で目にする企業ロゴタイプやマークをリサーチすることでその違いや効果を理解させる。	
授業科目 デザイン実技Ⅲ		産学協同研究のプレゼンで採択案であるワッペンは7、8月全NEXCO中日本高速道路職員がつけてサービスにあたった。約7000個作成。 絵本作品は、9月東京で開催されるアートブックフェアにエディションを作って出品する。
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
グループワークと個人制作による2つの課題にとりくむ。個人制作は絵本か雑誌の制作。独自のスタイルのイラスト、ストーリー、編集、構成に至まですべて一人で制作したオリジナル絵本を作る課題。グループワークは中日本高速道路との産学協同研究「高速道路休憩施設における心地よく楽しめるビジュアルコミュニケーションメディアの提案」として4グループに分かれてCS向上キャンペーンのワッペンとポスターの制作について提案。プレゼンを行い発表する。	中日本高速道路株式会社のコーポレートアイデンティティ。その他雑誌、参考にする小説など。雑誌編集と写真撮影。	
授業科目 デザイン実技Ⅱ		東京でのアートブックフェアに参加することで、自分の作った作品に対して、来場者の直接的な反応を見ることができた。
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
3課題。①100枚ドローイング。ドローイングを元に②版画ドローイングを元にリトグラフの制作。版の数と色彩の重なりを考え計画的な描写を学ぶ。③アートブックの制作 テーマを決めイラストや文字情報も各自でつくり手づくり感のあるエディションの少ない本を制作した。	描画材料の工夫と可能性を拓げる。展覧会の鑑賞で視野を拓げる。	
授業科目 デザイン演習Ⅱ		カラーリサーチしたデータをDICなどのカラー番号に置き換え、カラーブックとしてまとめる。
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
色彩研究。色彩は画家やデザイナーの作り出す作品のオリジナル性やメッセージとして重要な要素である。作家研究と色彩研究を合わせて行ない色彩の効果を考察していく。	アーティスト画集や、デザイナーの作品集など。	

授業科目 大学院 コミュニケーションデザイン & アート演習		専門の違いで制作物にも違いが現れることをそれぞれが認識することで自分の表現に生かしていくことになる。
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
デザイン、美術画研究科の学生対象で、それぞれの観点からコミュニケーションについて考える。アートブックの制作を通じて本の持つ役割をアートで表現する。	参考作品としてのアートブック、自分自身の作品など。	
授業科目 写真演習		主に一眼レフを用いて撮影し、箱に入れる写真ポートフォリオの形態でまとめる。
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
基礎的な写真技法をふまえて各自の表現に取組む。テーマにそった写真撮影から各自で決めたテーマで表現する課題がある。撮影対象物にテーマを決めたりカラーやモノクロ、デジタル、アナログなどの技法やその他の技術的な表現方法をテーマとすることもできる。	写真黎明期から現代写真まで様々な作品資料による講義で写真表現について考えていく。	
授業科目 デザイン実技Ⅱ		産学協同研究での各グループの提案はそれぞれ全く違ったメディアを考えて提案した。紙情報媒体、WEB ページ、身体性を考えたフィジカルメディア、サービスエリアならではのテーマでの情報紙。などがあつた。
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
2 課題。祖父江慎客員教授のブックデザイン。アプリケーションソフトはインデザインを使用し一般に売られている本を各自の発想に基づきリデザインする。祖父江氏の大胆なアドバイスとプロの詳細にわたる細かなチェックでブックデザインの手法を学ぶ。2 目目の課題は産学協同プロジェクトのグループワーク。高速道路サービスエリアでの新サービスの提案。グループごとによりサーチし案を作成しプレゼンテーションする。	既に出版されている書籍を各自で選択する。	

3. 学会等および社会における主な活動

中日本高速道路株式会社と産学協同研究① <CS 向上キャンペーンのワッペンとポスターの制作>	2012. 6～8 2013. 3	中日本高速道路との産学協同研究「高速道路休憩施設における心地よく楽しめるビジュアルコミュニケーションメディアの提案」としての1つ目は、<CS 向上キャンペーンのワッペンとポスターの制作>について提案。3年生全員が4つのグループにわかれてアイデアをプレゼンテーションする。採択案となった「おはくんワッペン」は7.8月全NEXCO中日本高速道路職員がつけてサービスにあつた。約7000個作成。ポスターもサービスエリアに掲示される。
---	----------------------	---

<p>中日本高速道路株式会社と産学協同研究② 「男めしフェア」の提案とパンフレットの制作、ポスター作成へのイラスト、ロゴの提供</p>	<p>2012. 11 ~ 2013. 3</p>	<p>MCD コース 2 年生による高速道路サービスエリアでの新サービスの提案。グループごとにリサーチし原案をつくり実際のプロトタイプを作成し、ボードとパワーポイントを用いてプレゼンテーションした。4つのアイデアから紙情報媒体「男めし」が選ばれた。2月 A3 三つ折りサイズ 16P のパンフレットを制作。2月末から中部地区ネクスコ中日本のサービスエリア 47 カ所で「男めしフェア」で大々的にキャンペーンが実施されパンフレットも配布された。4月に入り中日本エクススより、このフェアでの対象商品が前月比 138% アップの売上となった。売上増で購買需要の促進を計る事ができたと報告があった。</p>
<p>光村図書 高校美術 2</p>	<p>2008 年度改訂版 4 月より全国の高校にて使用。 2012 年現在も継続掲載。</p>	<p>高校 2 年生用美術科教科書 P41、表現の手法 5「写真を使って」のページに参考作品として「Floating World」が使用されている。</p>